

肺機能検査について

どのような検査か

●肺機能検査は「スパイロメトリー」という機械を使って肺の働きや病気を調べる検査です。肺活量を調べる検査を受けるときには専用のマウスピースを口に加えて、静かな呼吸を数回繰り返した後、一度大きく息を吐き、次に大きく息を吸い、さらに大きく息を吐きだします。努力性肺活量を調べる検査では静かな呼吸を2~3回繰り返したのち、大きく息を吸い、一気に強い息を全部吐きます。



この検査からわかること

- 肺活量：大きく息を吐き出してもらうことで肺の大きさを調べます。
- %肺活量：患者様の年齢、性別、身長から求めた予測肺活量に対して、実際に測定された肺活量の比率を調べます。
- 努力性肺活量：一気に吐き出せる空気の量を調べます。
- 1秒量：努力性肺活量のうち、最初の1秒で吐き出した空気の量を調べます。
- 1秒率：努力性肺活量と最初の1秒で吐き出した空気の比率を調べます。

基準値

%肺活量は80%以上、1秒率は70%以上となっています。

肺機能検査を受ける患者様へ

肺機能検査は患者様が大きく息を吸ったり吐いたりするために、とても体力を使う検査になります。また、専用のマウスピースを咥えて口で呼吸をするために、息がマウスピース外へ漏れてしまうことがあります。

そのため、検査技師が呼吸のタイミングを指示したり、息が漏れないように患者様の口を触ることがあります。正確な検査結果を得るために沢山協力してもらう事の多い検査ですが、一緒に頑張りましょう。